

交通・公益事業における 安全性とリスクマネジメント

受講料無料

2014年11月22日[土] 13:30~16:20

明治大学・駿河台キャンパス(グローバルフロント1階 グローバルホール)

第一部 講演 (13:30~15:30)

**「交通・公益事業におけるサービスの性質と安全性の確保
—若干の整理の試み—」**

手塚 広一郎 (日本大学経済学部教授)

「交通インフラとリスクマネジメント」

町田 一兵 (明治大学商学部専任講師)

(休憩10分14:30~14:40)

「東京ガスにおける地震防災対策の取り組みについて」

猪股 渉 (東京瓦斯株式会社・防災・供給部 防災・供給グループマネージャー)

「JALの安全への取り組み」

阿部 泰典 (日本航空株式会社広報部担当部長安全推進部本部付)

(休憩10分15:30~15:40)

第二部 パネルディスカッション (15:40~16:20)

【司会】 浅井 義裕 (明治大学商学部専任講師)



シンポジウムの目的

企業は、その経営において様々なリスクに直面している。安全に関わるリスクはその主要な項目の一つであり、安全性を損なうことは企業運営に対してのみならず社会に対しても大きな影響を与える恐れがある。とりわけ、交通・公益事業分野は、その事業の性質から、その社会的な影響が大きく、安全性の確保が特に重視される分野である。実際、アクシデントやインシデントといった安全性を損なう事故の発生を防ぐために、事業者は数多くの取り組み(ロスコントロールと呼ばれる)を行っている。

本シンポジウムでは、交通・公益事業分野において、サービスを提供する事業を取り巻くリスクに対してどのように対応すべきか、という問題意識のもと、研究分野と事業分野の双方の視点から、そのあり方を検討する。

具体的には、1)研究者の視点から安全性や安全性に関わるリスクマネジメントに関する整理を行うとともに、2)事業者の見地から、自社における安全性の確保についての取り組みについて講演をいただき、3)それらをもとに安全性の確保とリスクマネジメントのあり方について、パネルディスカッションという形で論点整理を試みる。これらの検討を通して、交通・公益事業分野における安全性の重要性と、それを確保のための取り組みに対する理解を深め、今後のリスクマネジメントのあり方を考えるということが、本シンポジウムの主たる目的である。



プロフィール

浅井 義裕

職 位：明治大学 商学部 専任講師
研究分野：保険、金融 専門は、保険リスクマネジメント論

学 位：博士(経済学)
1977年 名古屋市生まれ。
2000年 名古屋大学経済学部経済学科卒業。
2002年 名古屋大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。
2005年 ニューヨーク州立大学バッファロー校博士前期課程修了。
2006年 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程修了(経済学博士)。
2006年 城西大学助手、2010年 同助教。
2012年より現職。

主な著書・論文

「はじめて学ぶ保険のしくみ」第2版 (共著、中央経済社、2015年)、
Asai, Yoshihiro and Okura Mahito (2011) "How Do Cost and Regulation Change Loss Control Activities and Insurers' Monitoring?", *Journal of Insurance Issues* 34(2), pp.172-188.など。

所属学会

日本金融学会、Asia-Pacific Risk and Insurance Associationなど。